

オックスフォードでの共同研究を終えて  
理学系研究科化学専攻  
西尾洗祐

2016/2/28-3/5 の1週間、Oxford 大学の Schofield 研究室に滞在した。これまでの研究において、TET1 と呼ばれる酵素の阻害剤開発を目標にスクリーニングされた、複数の候補ペプチドの *in vitro* での酵素阻害活性を Schofield 研究室で立ち上げられたアッセイ系を用いて評価した。実験技術を取得する意味から、自分でアッセイ系の条件の最適化から阻害活性測定までをご教授いただきながら行った。慣れない実験であることから上手くいかないことも多かったが、なんとか目的の実験を完了することができた。また実験だけでなく、グループミーティングで日本での研究紹介をさせて頂いたり、Schofield 研究室にいる多くの研究者や博士課程の学生とのディスカッションをしたりすることで、研究についての意見交換やよい刺激を受けることができた。最後に、温かく受け入れてくださり実験から雑務まで快くサポートいただいた Schofield 研究室の皆様、特に直接実験をご教授いただいた Akane Kawamura 博士、Roman Belle 氏に心から感謝したい。また、このような貴重な経験の場を提供してくださった ALPS コースの厚いご支援に御礼申し上げます。